

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和2年5月22日（金）10時00分～11時00分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、知見主任安全審査官、松井安全審査官、高松専門職、

田上係員、高木技術参与

福島第一原子力規制事務所

田中原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当7名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、以下の説明があった。
  - 1号機使用済燃料プール（SFP）への養生の設置について
    - ✓ 1号機原子炉建屋の南側崩落屋根等の撤去に際し、屋根鉄骨・がれき等がSFPに落下した場合に燃料等の健全性に影響を与えるリスクを可能な限り低減するため、SFPに養生を設置する。
    - ✓ SFP養生設置及び養生バグの概要
    - ✓ SFP養生設置に伴う、SFP水位の低下作業について
      - ◇ 養生バグがSFP上での展張時に燃料取扱機下端部のケーブル等に接触することを避けるため、SFP水位を約500mm低下させる。
      - ◇ 仮設の排水ポンプによりスキマサージタンクへ排水して水位を低下させ、仮設水位計（主）及びスケールの目視（副）により水位監視を行う。
      - ◇ SFP水位を低下させるに当たり、運転上の制限（水位がオーバーフロー水位付近にあること）を満足しなくなるため、実施計画Ⅲ章第1編第32条（保安作業を実施する場合）を適用し、必要な安全措置を講じた上で、計画的に作業を実施する。
    - ✓ スケジュール  
本年3月から準備作業を進めており、5月下旬からSFP養生の設置作業を実施予定。
  - 6号機新燃料の曲がり燃料棒の復旧について
    - ✓ 昨年11月、6号機新燃料の除染作業中に燃料棒の曲がり事象が発生したため、除染・再組立作業を中断。当該燃料集合体の燃料棒72本はバラバラの状態に6号機原子炉建屋オペレーションフロアに長期間仮置きしていた。
    - ✓ 曲がり燃料棒の曲げ戻し作業の準備が整ったため、本年4月に健全な燃料棒（71本）の除染・再組立を実施後、曲がり燃料棒（1本）の曲げ戻し作業を実施した。
    - ✓ 曲げ戻した当該燃料棒は、除染・検査を実施した後、健全燃料棒71本を挿入した燃料集合体に挿入し、新燃料貯蔵庫に収納した。
    - ✓ 6号機新燃料の解体・除染・再組立の今後の予定
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、1号機のSFP養生設置については、想定されるリスクと対策の検討結果及びSFP水位の低下

作業に係る考え方の詳細について、作業実施前に説明すること等を求めた。

## 6. その他

資料：

- 1号機ガレキ撤去作業時のガレキ落下防止・緩和対策の進捗状況（SFP養生の設置）
- 6号機新燃料曲がり燃料棒の復旧について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール
- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況，運転計画（2020年5月15日～2020年5月28日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2020年5月15日～2020年5月21日）
- 福島第一原子力発電所における固体廃棄物について